

令和3年度事業計画書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

主たる事務所の所在地 都城市吉尾町 473 番地の1
名 称 一般社団法人霧島工業クラブ
代表者氏名 代表理事 下森 康玄

1 事業方針

令和2年度は、世界にとって苦難の1年でした。新型コロナウイルス感染爆発は世界の景色を一変させ、経済活動には急ブレーキがかかり、世界のあちこちで分断やきしみが目立ちましたが、今年度はそこから立ち上がる「再起動」の年になるでしょう。米国では、バイデン政権が発足し、自国主義から国際協調路線に戻り、中国の覇権主義に一線を画しながら、世界保健機構（WHO）やパリ協定へ復帰するなど世界の潮流に合わせる方向に政策転換しています。また、世界各国は、かつてない大規模な財政措置や金融緩和を実施し、経済の再生を図っています。

日本では、安倍政権から菅政権へ政権が移行し、10月に衆院議員の任期満了を控え解散時期に注目が集まっています。また、今年のビッグイベントは昨年から1年延期された東京五輪・パラリンピックですが、いずれもコロナ感染を制御できるかが鍵を握っており、その鍵となるのが、ワクチンの普及です。ワクチン接種が進み、集団免疫ができることにより、経済活動がコロナ前の水準に回復することが期待されています。

一方、県内では、昨年11月にオープンした JR 宮崎駅西口（高千穂口）の複合施設（アミュプラザ宮崎）が開業1か月で入館者数が127万人を超え、流通業界では MEGA ドン・キホーテ宮崎橋通店、ワークマン・プラスがオープン、今年3月には人気雑貨店ロフトも開業するなど市街地の新しい中核施設として浸透しつつあり、活性化されることが期待されます。また、建設業は、国の国土強靱化5カ年計画や公共事業によって好調で明るいニュースもあります。

コロナ禍が長期化し、新しい生活スタイルを「新常態」として対応することが求められ、IT化を通してビジネスモデルや組織文化を変えていく DX（デジタルトランスフォーメーション）という言葉が飛び交う中、イノベーション（技術革新）の要素を取り入れながら、各種業界で生き残りに向け知恵を絞っていかねばなりません。逆境をプラスと受け止めピンチはチャンスで、「困り事こそがビジネスチャンスを生む」という言葉を胸に、この苦境を乗り越えていきたいものです。

当クラブでは、このコロナ禍だからこそ、これまで以上に、都城高専との技術協力や産学共同研究を推進し、都城高専同窓会「深山会」との連携による UIJ ターン受入推進、産学官金交流会、合同企業説明会等の開催や都城高専就職支援講演会への講師派遣、インターンシップの受入促進等に加え、昨年同様、都城高専が全国51校の幹事校となって推進する「モンゴル高専生の日本におけるインターンシッププログラム」への協力並びに雇用促進の支援を行ない、行政、企業及び都城高専との産学官金連携を強化してまいります。

令和3年度も、地域におけるプレゼンスを高め、今後さらに会員同士の情報交換を密にして、経営力向上につなげ、地域経済の振興を目指し、また、地域の活性化に寄与していきたいと存じますので、今年度も会員の皆様のご協力ご支援を何卒よろしくお願い致します。

当クラブでは、都城高専を核とし、会員企業の技術力向上や経営基盤の強化、産・学・官協力体制の確立等を図るため、次のような事業を実施します。

- (1) 「モンゴル高専生の日本におけるインターンシッププログラム」への協力並びに雇用促進の支援
現在、モンゴルには国立科技大付属高専、モンゴル工業技術大学付属高専、新モンゴル学園高専の3校があり、都城高専がモンゴル国協力支援幹事校として、日本におけるインターンシップの実施を計画中であることから、モンゴル高専生のインターンシッププログラムの受入先として協力し、また雇用の促進を支援する。
- (2) 地域連携テクノセンターの活用による地域活性化の推進
都城高専と地域企業との技術協力・共同研究の推進を図る
都城高専新卒者及びコロナ拡大で増加する都城高専既卒者（UIJターン希望者）を会員企業へ紹介することにより地域活性化を図る
- (3) 例会の充実
講演に引き続き懇親会を開催し、人的交流を深める
県内外企業訪問及び交流懇談会開催
- (4) 産学官の緊密なネットワークづくり
都城高専・南九州大学・宮崎大学をはじめ九州沖縄農業研究センター、宮崎県工業技術センター、宮崎県食品開発センター、宮崎県木材利用技術センター、宮崎県総合農業試験場などの教育機関・公設試験場や宮崎県及び都城市、宮崎県産業振興機構、都城商工会議所などの産学官ネットワークをさらに緊密なものにしていく
 - ①. 都城圏域産学官金交流会の開催
 - ②. 都城高専のロボコン支援やおもしろ科学フェスティバル後援
 - ③. 都城高専が促進するさくらサイエンス事業やナンヤン・ポリテクニク（シンガポール）等の国際交流事業への協力支援
- (5) 組織の充実
新型コロナウイルス感染拡大の影響を最小限にし、現状の会員企業51社を維持する

2 事業内容

- (1) 産学官連携による各種プロジェクトの推進に関する事業（定款第4条1）
 - ①. 都城高専と地域企業等の技術協力・共同研究の推進
都城高専と地域企業等の連携の橋渡し役として、技術協力・共同研究を推進する
- (2) 工業振興施策の推進及び提言・要望に関する事業（定款第4条2）
 - ①. 都城圏域産学官交流会の開催
都城圏域企業、大学、高等学校、高専、専門学校、職業訓練校、宮崎県、都城市の関係者等に呼び掛け意見交換および交流を行う
実施期日：計画中、場所：ホテル中山荘予定

(3) 各種講演会及び研修会に関する事業（定款第4条3）

①. 特別講演

各界から講師を呼び例会等の機会に特別講演を行う
（例会時に実施）

②. 都城高専研究シーズの紹介

都城高専と企業との技術協力・共同研究の促進の為、都城高専研究シーズを企業へ紹介し、
企業ニーズとのマッチングを図る

③. 都城高専専攻科研究発表会共催

都城高専が学外者を招いて開催する都城高専専攻科研究発表会へ協力支援し、専攻科生の
研究発表会への参加を促進する

(4) 会員企業見学会及び先進企業視察に関する事業（定款第4条4）

以下の3社の工場見学・企業視察研修会を実施する

① (株)ミヤチク【都農町】

② ソーラーフロンティア(株)【国富町】

③ 株式会社松尾宮崎【都城市高城町】

(5) 関係機関・団体との連携協調に関する事業（定款第4条5）

① 視察・意見交換会・交流会などの受け入れ

今年度も多くの機関団体と連携をしていく

② 都城高専、宮崎大学、南九州大学学生のインターンシップ実施

協力企業を募集し実施（7～8月）

③ 宮崎大学と県が推進する地域定着事業への協力

④ 都城高専就職支援講演会への講師派遣

⑤ 都城高専との合同企業説明会の共催

⑥ 都城高専4年生校内研修開催のための講師派遣

(6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条6）

未定